



学塾通信 9 月号（第 154 回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

9 月 3 日(水)・4 日(木)・5 日(金)・15 日(月・祝)・23 日(火・祝)・29 日(月)は授業調整日です。
通常授業は実施しません。

子どもたちはよく「ワンチャン」という言葉を使います。少しでも可能性があればというニュアンスの若者言葉です。2 学期を目前に控え、現実的に受験校を絞り込んでいく時期になりますが、断言したいのは入試において「ワンチャン」は起こりません。模試での合格確率が 90%以上の A 判定でも入試で不合格になることはあります。逆に合格確率が 15%未満の F 判定では、合格に向けて計画的・戦略的に努力をすることをしなければ入試当日に良い結果になることは 100%ありません。奇跡は起きません。受験生には夏の終わりにそのことを伝えておきます。

みなさんは夏休みまでに入試問題を解くための土台を作ることを終えています。

受験までの残り半年は、授業や講習会で学んだことを生かして自分で解くことができる問題を増やすための時間です。

その上で受験生に今月伝えたいことがふたつあります。

ひとつ目は、先ほども書きましたが、授業で学んだことを意識して自主学習をすることです。

自主学習をしている様子を見てみると、もったいないと感じることがあります。

それは、塾での学習と自主学習の内容が連動していない人が多いからです。塾で習ったことやポイントを自主学習に反映させることができていないのです。塾での授業、特に受験生の特別講座では問題を解く上で大切なことを教えています。ですから、学んだ方法を自主学習にも反映させて得点力を上げてもらいたいのです。一例を挙げると、中学受験生には、流水算の問題解くときは速さの線分図を書くことを伝えました。そうすることで何に着目をすれば良いのかわかりやすくなるからです。

しかし、自習で質問を受けたとき、ノートを確認すると速さの線分図を書いて考えていませんでした。

これがもったいないポイントです。このようなことは高校受験生にもあります。

ふたつ目は高校受験生の部活引退後の時間の使い方です。

これまでは部活動があり、夜にしか学塾に来ることができなかった人たちも、夕方の時間を使えるようになりました。この時間を有効活用して下さい。学校の部活は引退しましたが、これからは「受験勉強部」に入部したと思い、部活動の時間を受験勉強に充てるようにして下さい。

この夏休みは普段より多くの学習時間を確保して受験勉強に打ち込んできました。9 月以降の自主学習の質と量が確保できれば夏期講習会の内容がより生きてきます。

夏休みの頑張りを生かすためにも意識的に自主学習・受験勉強に充てる時間を増やしていきましょう。



○保護者面談について(随時受け付けています。)

面談を希望される方は info@gakujyuku.com 宛にご連絡をお願いします。日程調整をします。

○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X(Twitter)にて配信しています。

○教室への連絡について

教室への連絡は、一斉配信のメールアドレス宛に用件を送っていただいても教室には届きません。

お手数ですが info@gakujyuku.com 宛をお願いします。

メール確認後は、当日ないし翌日までには返信しています。教室からの返信が無い場合は、一斉配信宛に届いている可能性があります。一度ご確認をお願いします。

○学塾アプリの運用について

ログイン ID・パスワードとマニュアルを配布しました。現時点でお知らせに目を通していただいている方は50%ほどです。まだログインをしていない方は、お時間がある時にお願いできればと思います。

アプリから連絡をいただく際には「塾長 送信可」宛に送って下さい。

○欠席連絡について

欠席連絡の際に、お子様から欠席・振替の希望の申し出をいただくことがあります。

過去に保護者様が把握していないまま塾を欠席している生徒がいました。そのようなことが無いように保護者様から連絡をいただきますよう、よろしくお願いします。

また、家族旅行などで授業を忘れていた場合には無断欠席となります。後日振替授業をすることはできません。ご了承下さい。

○入塾時の約束について

中学生の方には入塾の際に「入塾時の約束」にサインをしていただいています。

そのなかの項目のひとつに塾の帰りはまっすぐ帰るというものがあります。

安全のために塾からは真っすぐ帰宅するように指導をしていますが、繰り返し注意が必要な状況です。生徒がコンビニに寄っているという連絡があると、そこまで見回りに行っています。

きちんとルールを守っていただければ必要のない時間です。

保護者の方からもお声掛けいただけると幸いです。

☆小学生☆

○6年生の後半の時間の使い方について

小学6年生はいよいよ、小学校の学習内容の終盤に入ります。

中学校への準備として大切な単元は「計算・割合・速さ」です。分数の計算に不安がある人は、小学生の間に正確に計算できるように練習をしておきましょう。速さの単元では「距離」と「速さ」と「時間」の関係を理解できているかどうかが大切になります。

小学生の間に学んできた内容を文字で表現をすることが中学数学の基本です。

(小学生)1300 人の生徒のうち、自転車通学の割合が 15% → $1300 \times 15/100 = 195$ (人)の生徒が自転車通学

(中学生)1300 人の生徒のうち、自転車通学の割合が Y% → $1300 \times Y/100 = 13Y$ (人)の生徒が自転車通学

基本がわかっていない場合 $1300 \div Y/100$ としてしまう間違いや、そもそも Y/100 が出てこないということもあります。

これは一例ですが、他の単元でも同様です。小学生の間に学んできたことが中学生の学習に繋がります。中学校に入学するまでの期間で学習習慣を確立するための学習スケジュールを立てていただくだけでなく、小学校で習った学習内容の定着(算数・漢字・英語)も意識して残りの小学校生活を過ごしていきましょう。

○パズルについて

小学校低学年の塾生には授業時間内パズルをすることがあります。

パズルを取りいれている意図は問題冊子を読みパズルのルールを理解すること、答えを出すためのプロセスを考えてもらうためです。学年が上がった時に初見の問題を見た時に試行錯誤することができる思考を持ってもらえたらと考えています。

○テレビゲームとの付き合い方について

俵万智さんの著書「生きる言葉」よりお子様との会話で使える箇所がありましたので紹介します。

「ゲームが面白いのは、よくわかる。でもね、これはおやつなんだよ。ケーキやチョコレートと同じ。おいしいからって、朝はケーキ、昼はポテチ、夜はチョコレートだったら大きくなれないし、病気になってしまうよ。だからゲームも、おやつみたいに分量と時間を決めて、楽しくやろう」
そして、ゲームをした時間と同じだけ本を読むというルールも付け加えた。頭ごなしに否定したり、規制を押し付けるのではなく、「おやつ」という身近な比喻は子どもたちの心をとらえてくれたようである。



☆中学受験生☆

夏期講習会では 13 時半から 19 時までの授業を受け、そのあと 22 時まで勉強を頑張っていました。また、学塾が開いていない時間にも図書館で勉強をするなど前向きに頑張っていたということも聞いています。本当によく頑張っていると思います。

中学受験コース入塾の際に、自主学習ができるかどうかを受け入れ基準にして 3 年目、ようやく思っていた形になってきたように思います。

中学受験生のみなさんは、受験において必要な知識は学び終えています。自主学習で反復練習をしつつ定着をさせていきながら、解くことができる問題のレベルを上げていきましょう。授業では練習をする際により効率的に解くことができる方法を学び、過去問を通して受験校の問題形式に慣れていきましょう。問題全体を見渡して定番の問題など正答率が高い問題を確実に取り切ること。差がつく問題を少しでも正解できるよう経験を積んでいきましょう。

9 月 3 週目を目安に通常授業で受験校の入試問題を解いていきます。

問題用紙と解答用紙を講師からお渡しします。時間を計って解くように指示をします。採点も講師がさせていただきます。

○模試について(小学 6 年生・5 年生)

第 4 回 五ツ木模試 8 月 31 日(日) 必須回です。

受験校の個別相談会に参加する際には、模試の帳票も持参していただき入試担当の先生からのフィードバックを受けるようにして下さい。

☆中学 1・2 年生☆

中学 2 年のみなさんも、2 学期は中学校生活の折り返しです。

進路のことを考え始めるのに早すぎることはありません。定期テストが近くなればテスト勉強をする。これは当たり前のこととして意識できていると思います。では、テスト期間外はどうですか？意識的に自主学習をする習慣は身についているでしょうか。

受験勉強は学習習慣の確立から始まります。まずは自主学習のスケジュール設定から取り組んでいきましょう。みなさんは学塾の 14 期生になります。高い目標を持って頑張っている人もいますが、約束を守る・時間通りに来る・基礎学力の定着など基本的なことができていない人もいます。

私も例年の取り組みとは違った対応も考えていなければならないと思っています。

中学 1 年生のみなさん、1 学期は入学当初ということもあり部活動や勉強にも前向きに一生懸命に頑張ってきたと思います。新しい環境で緊張や不安もあったと思いますが、みなさんよく頑張ったと思います。いよいよ 2 学期に入りますが、学校生活や部活動に慣れてきた 2 学期は油断をして色々なことが疎かになる人が増えてきます。

夏休み気分を引きずることなく、気持ち新たに 2 学期は 1 学期の自己ベストを更新するという気持ちで毎回の授業に臨んで下さい。

☆高校受験生☆

9 月から模試の受験が必須になるため、模試の受験について大切なことを伝えておきます。

まず何のために模試を受験するのかをはっきりさせることです。同じ模擬試験でも 9 月に受験をすることと 11 月に受験をするのでは受験の目的が違います。

最初は結果だけに一喜一憂しすぎないことです。

一番良くないのは、結果だけ見て「偏差値が〇〇だった」で終わってしまうことです。

間違えた問題を見直すこと、特に多くの人が正解している問題については必ずやり直しをしましょう。

そして模試をつかって知識の定着を確認することです。模試に出て来た単元で理解不十分だと思えば、その単元をやり直しましょう。

普段使っている塾の教材で模試に出題された単元の基本を確認し、他の問題集でも類題を解いてください。9 月の模試は教材と思って取り組みましょう。

○公立高等学校アドミッションポリシーについて

令和 8 年度大阪府公立高等学校アドミッションポリシー(求める人物像)並びに学力検査問題の成績及び調査書の評定にかけるタイプが発表されています。詳しくは大阪府のホームページをご覧ください。(7 月 19 日の Twitter @gakujoyukuhorie でもリンクを貼っています。)

○夏期講習会の教材について

夏期特別講座で使用した以下の教材は 9 月以降の塾長講座や入試直前特訓でも使用します。ご自宅での保管をお願いします。自主学习等で使っていただいても構いません。

・入試完成国語 ・入試完成古文 ・理科 大問 1 の完成 ・理科 計算練習

○過去問の実施について

学校説明会などで昨年度の入試問題(過去問)を配布してくれる学校もあります。

解いてみたい気持ちもわかりますが、12 月以降に計画的に解いていくのももう少し待ってください。

(教科によっては未習の学習内容もあります。)

○進路面談について

10月2週目から希望者を対象に個人面談を実施します。希望される方は日程調整をさせていただきますので連絡アプリか info@gakujyuku.com 宛に連絡をお願いします。(用紙でも案内を配布します。)

対面、オンライン、電話、2者面談・3者面談など希望に応じて実施させていただきます。

11月・12月の学校での懇談を経て受験校の決定となります。学校での懇談後再度、学塾での面談を希望される方は随時実施しますのでお声掛けください。

○進路希望調査について

学塾アプリにて進路希望のアンケートを実施しています。アプリから解答をお願いします。

中学校の懇談などで「このままいけば大丈夫でしょう。」と先生から言われる言葉の受け取り方についてです。これは今のまま努力を怠らず、受験勉強を継続することができれば合格圏に届くでしょう。という意味です。もう勉強をしなくて良いということではありません。

○中3 第5回 塾長講座について

2025年9月6日(土) 13時30分～19時00分

○模擬テストについて

第4回 五ツ木模試 9月14日(日) 必須回です。

いよいよ必須回の初回です。これからは進路選択に繋がる大切なテストが続きます。
全員申込書の提出をお願いします。

☆大学受験生☆

学校型推薦入試の季節が近づいてきました。

私立大学の入試制度は高校入試のように統一されていません。

各大学が公表している資料を確認し、十分に対策をして臨みましょう。大学が実施しているオープンキャンパスや説明会などでも詳しく説明があります。事前に必ずチェックしてください。

また、公募入試に合格したあとに一般入試も受ける場合は公募後の入学手続きをどうするか、なども考える必要が出てきます。諸々の手続きの日時を確認した上で出願をするようにしてください。

2025 年度 塾生募集について

お友達紹介キャンペーン

紹介された方 入会金無料・紹介者 3000 円分のクオカード

【高校生】	募集終了
【高校受験 中 3】	募集終了
【高校受験 中 2】	募集終了
【高校受験 中 1】	募集終了 キャンセル待ち 2 名
【中学受験 小 6】	募集終了
【中学受験 小 5】	若干名
【非受験 小学生】	若干名

学塾【URL】 <https://gakujoyuku.com>

【X】 <https://x.com/gakujoyukuhorie>

【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujoyuku>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujoyuku/>